

経営企画委員会県内視察報告

1 調査日

令和8年2月10日（火）

2 出席委員等

八嶋浩久委員長、種部恭子副委員長、山本徹委員、井加田まり委員、山崎宗良委員、澤崎豊委員、谷村一成委員、瀧田孝吉委員
(その他、地元議員、執行部が参加)

3 調査の概要

(1) 調査先

- ① 公文書館
- ② 液状化の被災状況（氷見市、高岡市伏木）
- ③ 解体予定の防災建築街区（氷見市）
- ④ 地下水位低下工法実証実験（射水市港町）

(2) テーマ

- ① 長期の保存文書の保管状況について
- ② 能登半島地震に係る富山県復旧・復興ロードマップの進捗状況（液状化の被災状況及びその対策工事の実証実験の状況、予定されている公費解体への支援の状況）

(3) 内容

① 公文書館

公文書館の概要について説明を受けるとともに、公文書等の保管状況を調査した。



② 液状化の被災状況（氷見市、高岡市伏木）

氷見市北王町で能登半島地震の液状化被害を受けた地区の復旧・復興状況を調査した。

また、高岡市伏木の同様の被害を受けた地区の状況も調査した。



③ 解体予定の防災建築街区（氷見市）

氷見市の公費解体予定地である防災建築街区について、県の支援の進捗状況について調査した。



④ 液状化の被災状況及びその対策実証実験（射水市）

能登半島地震により液状化被害の集中した射水市港町地区において、地元自治会と懇談した。また、射水市の液状化対策実証実験の現地を調査した。

